

第3回「富安陽子 I I C L O ストーリーコンペ」

投票時にいただいた主な感想

A：恐竜がジャンプする

- ・とびうおの様子がよみやすく、わかりやすくいきいきして感じました。
- ・『題は恐竜なのに、トビウオ?』という意外性が面白かったです。また、トビーとトトのキャラクターもよく、楽しく読めました。トビーが靴下の穴(?)からひれを出す絵がすぐに思い浮かばなかったのと、靴下の重さで高くジャンプできるのかなというところが、気になりました。
- ・全体的にずっと読みやすいモノであった。ほかの作品が哀愁的なのが多かったり、ラストが残念だったりしたが、この作品は、ありきたりなテーマかもしれないが、楽しく読ませてくれた。ネーミングのトトがぼらの出世魚トドに発音が似てしまって、おおきいものをイメージしてしまい、そこが少しひっかりました。靴下が、人以外のものから、見たときの不思議感がいいですね。もっとこの場面増やしたらよりよかったかと思いました。たとえば、宮沢賢治の「鹿踊りのはじまり」。鹿たちにとって、手ぬぐいは、不思議で不思議で。でも、きっと作者さんは、書いてられるのが、楽しいって作品世界の面白さがあふれているように感じました。今後も期待しています。頑張ってください。ラスト、子ども男の子は、車の中より、余韻残して伏線的に、遠い海を眺めました、ならどうでしょうか？まあ、これもきれいすぎるラストで、面白みにかけるでしょうか？

B：じっちゃんの海にかかる橋

- ・情感豊かで景色が思い浮かびました。
- ・情景が目浮かぶ。じっちゃんと僕の船上での作業が具体的。「橋」がトビウオという設定がいい。
- ・トビウオは、アゴだしになるんでしたよね。そのトビウオが、一斉に飛ぶと橋になるという場面が見えるみたいでワクワクとして読みました。靴下の使い方もよかったです。
- ・読みごたえのある作品でした。
- ・文章力もあり、短い中にドラマがあると思った。
- ・キラキラかがやくトビウオの渡り橋を見たいと思いました。

C：セールスマンのデルタさん

- ・ロボットと人間の仲良く暮らす未来の日常の一コマが楽しかったです。デルタさんのセールストークと博士の合の手も面白く、どの靴下もほしくなりました。
- ・発想がとてもおもしろいと思いました。・「とびうお」が「とびうおぎ」になっていること。・穴のあいた「くつした」を「ハンカチ」にしたこと。・はかせのしゃべり方。・デルタさんが、テレビに出ていそうなイメージ。・ロボットと人間がいっしょに生活しているのが現実っぽい。
- ・人間とロボットが共生する未来の異星世界を描いたSFであるが、小学校低学年でも、現実世界の経験をもとに、ストーリーを十分絵にできる作品だと思う。「アルファのようなロボットがほしいな」「なかよし くつ下みたいに、大切なものが、なくしても戻ってきてくれるっていいな」と、どんな子も密かに思うに

違う。

- ・ どのお話もそれぞれに好きなポイントがあり、とても迷いました。はかせとデルタさんの勢いのあるセールス（？）トークがおもしろくて笑ってしまったので、こちらに一票入れさせていただきます。

D：トビウオ姫とくつ下王子

- ・ 意外性が面白かった
- ・ まず、タイトルがいいな。と、思いました。美術館から始まって、読んでいて読みやすく色や心の動きがすんなりと入ってきて、いつの間にか読み終わりました。今、何ページだろう、後どれくらいだろうと考えずに、読めました。
- ・ まず題名に惹かれました。お話は最後まで目の離せない展開でした。絵画について童話の中で語るのは、とても難しい気がするのですが、描かれる絵と、兄弟の掛け合いで現実と繋がるどころなど引き込まれて、展示されている絵がとても素敵に目に浮かびました。とても面白かったです！

E：なきすな駅のベンチ

- ・ ベンチがかたる思い出が、実は時々やって来てはスケッチする女の人との思い出だった。修理が必要になるほど、ベンチに話しかけた少女が大人になるほどの長い時間自体が物語だと気がつきました。素敵な作品をありがとうございました。
- ・ 読んでいてベンチの前の情景が目につく。想像を膨らませて読むのが楽しい。読み終わった後心がほっこりする。
- ・ ラストであの時の女の子が大人になって絵を描く人になっていて、「この景色が一番好き」と言った場面で、わたしも胸がいっぱいになりました。
- ・ 物語の絵がくっきりと浮かびました。古いタイプのお話ですが、安心して読むことができました。
- ・ 自分は海を見たことがないというベンチの悲しみ。その感情は、女の子がベンチの絵を描くというラストにそっと包まれていく。余韻の残る物語。
- ・ (なきすな駅のベンチ) タイトルから引き込まれました。駅の名前がすばらしい。駅の名前だけでも物語になっています。深みがあって、素敵なお話。ラストの女性の言葉に、読んでいる私も幸せな気持ちになりました。あたたかくて、とても美しい終わり方でした。物語の完成度がすごいです。実は私も投稿させていただいたのですが、選ばれた5作品みなさまのキーワードの取り入れ方、活かし方に舌を巻きました。このような発想、どうやってできるようになるのでしょうか……ちょっぴり、しょぼん。